

第15回日中韓文化大臣会合

2024京都宣言

2024年9月12日、第15回日中韓文化大臣会合が日本国京都市で開催された。今回の会合では、盛山正仁日本国文部科学大臣、張政中華人民共和国文化・観光部副部長、龍昊聲大韓民国文化体育観光部第1次官（以下「三者」という。）が出席した。

三者は、2024年1月1日の日本国石川県における能登半島地震をはじめ、自然災害の影響が続く中においても、三か国が連携しながら多彩な文化芸術活動を行い、文化交流・協力が力強く行われていることを高く評価した。三者は、北九州宣言、曲阜行動計画、全州宣言が、三か国間における文化交流・協力の深化、東アジア地域の友好親善や平和と安定、文化芸術の海外への発信・展開において重要な役割を果たしていることを確認し、歴代文化大臣会合の精神を継承・発展させることで一致した。

また、三者は、コロナ禍を経て、文化芸術が人間にとって必要不可欠なものであり、人と人との心の繋がりを強め、人の心を豊かにし、多様性と活力のある社会を形成する源泉となるものであることに共感した。同時に、文化芸術は、経済成長やイノベーション創出の原動力であり、少子高齢化や地域活性化といった社会課題を解決して、平和な社会の構築に資するものであって、三者は、文化への投資を持続的に増加させていくことが必要との認識で一致した。

上記の認識に基づき、三者は、東アジア地域の平和と発展に向けて、以下のとおり、三か国間の相互連携と未来志向の文化交流・協力をより一層充実、発展させていくことで一致した。

1. 文化交流・協力の深化と友好・連帯の強化 - 将来世代交流及び機関間交流の促進 -

(1) 三者は、三か国の未来志向の関係強化、持続可能な社会の構築に向けて、文化交流・協力を通じた相互理解の促進が極めて重要であることを確信し、三か国の文化芸術関係者や市民間の文化交流・協力、特に将来世代間の文化交流・協力を積極的に奨励することとした。また、三者は、2024年5月に開催された第9回日中韓サミットにおいて発出された共同宣言を踏まえ、文化が三か国の国民を繋ぐ架け橋の役割を果たすことを深く認識し、2025年から2026年の三か国における文化交流年に向けて、文化交流・協力をより一層充実させていくこととした。

(2) 三者は、「日中韓芸術祭」、「日中韓文化芸術教育フォーラム」等の主要な文化交流・協力事業が、三か国の相互理解の促進、文化芸術の発展、文化芸術教育の充実に重要な役割を果たしていることを高く評価し、今後も着実に推進していくこととした。また、三者は、文化交流・協力事業の実施に当たって、将来世代の参加及び交流を積極的

に奨励することとした。

- (3) 三者は、博物館、美術館、劇場、図書館等の文化芸術機関間の緊密な連携が三か国の文化交流・協力を支え、三か国間の友好・連帯において重要な役割を果たしていることを再度明確にした。また、三者は、三か国の文化芸術機関間における展覧会や公演の開催、芸術家や専門家、実務者間の交流・協力といった具体的な取組を通じて、パートナーシップの更なる強化を図り、東アジア地域の文化芸術の質を向上させ、そのグローバルなプレゼンスを向上させることとした。

2. 「東アジア文化都市」の交流・協力の強化 - 文化による持続可能な都市の発展 -

- (1) 三者は、2025年「東アジア文化都市」として、日本の鎌倉市、中国のマカオ特別行政区、湖州市、韓国の安城市を選定した。三者は、「東アジア文化都市」の開始から2024年で10周年を迎えたことを心から祝福し、この10年間、「東アジア文化都市」が三か国の文化交流・協力事業の最も重要な取組として、相互理解の促進、友好親善関係の強化、東アジア地域の文化的発展及びブランド力の向上に大きく貢献していることを認め、「東アジア文化都市」事業の充実強化を力強く推進していくこととした。
- (2) 三者は、歴代「東アジア文化都市」の交流を奨励するとともに、各「東アジア文化都市」の文化的・歴史的特色の発信、文化を通じた持続可能な都市の発展に向けた取組を促進することとした。また、三者は、「東アジア文化都市」における芸術家の交流を歓迎するだけでなく、将来世代が自らの住む地域の文化への理解を深め、誇りを持つことができるよう、将来世代間の交流・協力を促進することとした。
- (3) 三者は、東アジア地域の魅力を世界に発信し、文化多様性の増進に寄与するために、「東アジア文化都市」と「欧州文化首都」、「ASEAN文化都市」、「ユネスコ創造都市」等、世界の都市ネットワークを活用した交流・協力を促進することとした。
- (4) 三者は、「東アジア文化都市」の国際的なブランド価値を持続的に向上させる必要があるという点で見解を一にした。このため、三者は、三か国の若い世代の芸術家など将来世代の若者が一堂に会して共同ロゴを制作する取組を推進することを再確認した。

3. グローバルな公共財としての文化の重要性 - 文化を通じた課題解決への貢献 -

- (1) 三者は、文化があらゆる分野の基礎的な役割を果たすこと、「グローバルな公共財」としての文化が持続可能な社会の構築に貢献することを確認した。また、三者は、人口減少、少子高齢化、気候変動・自然災害、地域活性化、ウェルビーイングの向上など地球規模の課題に対応するため、文化の社会的・経済的価値や役割の重要性を共有し、文化の価値の向上に向け、文化を通じた諸課題の解決について情報を共有して連携することとした。
- (2) 三者は、文化多様性が持続可能な社会の発展の基盤を成すものであり、気候変動・自然災害・感染症・紛争などの国際的な危機への対応にも寄与することを確認した。三者は、三か国の文化交流・協力において、文化多様性を増進させるために努力することとした。

(3) 三者は、障害者による文化芸術活動を奨励し、文化を通じた共生社会の実現に努力することの重要性を確認し、障害者が文化芸術を創造し、享受する機会の確保を促進することとした。また、三者は、障害の有無を含め社会のあらゆる人々が経済的な背景や地理的な事情、年齢等によって文化へのアクセスが制限されないよう、それぞれの取組の良例を共有すること等を通じて連携し、文化を通じた共生社会の実現を推進することとした。

4. 文化遺産分野の保護及び協力の強化 - 気候変動や自然災害への対応 -

(1) 三者は、気候変動・自然災害から有形・無形の文化遺産を守り、適切な活用を図りながら将来世代へ継承していくため、三か国で連携・協力し、専門家間の交流・協力を推進していくこととした。

(2) 三者は、無形文化遺産の保護における相互協力や情報共有を引き続き強化し、人材養成などの交流・協力を奨励することとした。また、三者は、自国に設立された無形文化遺産分野のユネスコカテゴリー2センターがその役割を十全に果たし、協力を強化して、アジア太平洋地域の無形文化遺産の保護を促進するため、引き続き支援することとした。

5. 文化におけるDXと創造活動の支援 - クリエイター、文化産業の発展強化 -

(1) 三者は、世界的なDXの進展に伴い、クリエイター・アーティストによる文化芸術、コンテンツの創造が各国の新たな成長力の源泉になっていることを認識し、クリエイター・アーティストによる自由な創造活動を支援すること、クリエイター・アーティストが安心・安全に活動できる環境を整備していくことの重要性を認識し、それらの効果的な方策と情報の共有を図ることとした。また、三者は、文化芸術におけるデジタル技術の活用が、これまでにない創造活動や文化芸術の享受に重要な役割を果たすと考え、文化芸術分野におけるデジタル化に関して情報共有を図り、引き続き協力していくこととした。

(2) 三者は、文化産業が各国の経済成長やイノベーションの促進に重要な役割を果たしていることを認識し、その発展を促進することとした。また、三者は、日中韓文化コンテンツ産業フォーラムを通じて三か国間の文化産業の共同発展と繁栄を模索していくことで一致した。

(3) 三者は、クリエイター・アーティストによる創造活動の支援に関し、著作権保護の重要性を再確認し、正規版コンテンツの流通促進、権利侵害・海賊版の取締り、著作権保護意識の向上に向けた協力・交流を持続的に強化していくこととした。

6. 他分野連携による文化の魅力向上 - 文化観光の促進とスポーツ大会との連携 -

(1) 三者は、文化と観光の融合が、文化の魅力を国内外に発信し、また、その創造・発展・継承を図っていく上で、非常に有効であることを確認した。そして、三者は、観光を通じて文化への理解を深めることを推進するとともに、文化資源を活用した高付加価値

値な観光コンテンツの開発や魅力的な文化観光の地域づくりに関する良例を共有することとした。また、今回の日中韓文化大臣会合と日中韓観光大臣会合との連携のための三者による努力を評価した。

(2) 三者は、三か国で開催されたオリンピック・パラリンピックにおける文化活動や交流の重要性を再確認し、その経験や精神を継承することとした。そして、三者は、三か国で開催される国際的なスポーツ大会を契機に三か国の文化交流を充実させ、東アジア地域の文化の魅力を世界に発信するために引き続き相互に連携・協力することとした。

7. その他

(1) 三者は、日中韓三国協力事務局が三か国の文化交流・協力に参加することを歓迎し、事務局の積極的で持続的な役割を支持することとした。

(2) 三者は、第16回日中韓文化大臣会合を2025年に中国で開催することを決定した。

(3) 本宣言文は日本語、中国語、韓国語で作成され、1式3部で、3種類は同等の価値を持つ。

日本国

文部科学大臣

中華人民共和国

文化・観光部副部長

大韓民国

文化体育観光部第1次官
